

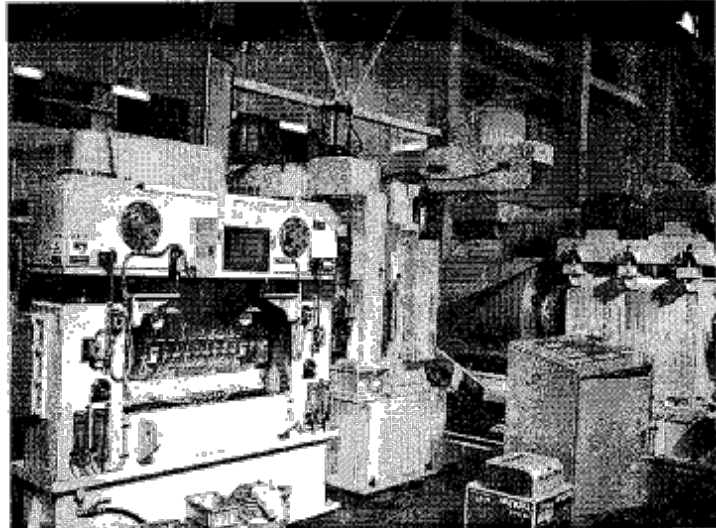
大型レベラーが稼働

須賀川事業所 品質・短納期に対応

【須賀川】大手コイルセンター、根津鋼材東北事業部（所在地：福島県須賀川市横山町、永山良久取締役事業部長）は、須賀川事業所（同横山町）の大型レベラーを更新し、このほど稼働を始めた。最大加工板厚を3・2ミリ（従来2・3ミリ）まで高めて厚物の加工

を内製化。平坦度など加工精度も向上し、品質・短納期など電機・OA関係を主とする需家のニーズに応える。総投資額は建屋増築も含めて約2億5000万円。

従来の大型レベラー（月間加工量約1500ト）は最大板厚2・3ミリまで、それ以上



更新した大型レベラー

の厚物は外注で対応していた。顧客のコストダウン要請や短納期のニーズが高まってきたことで更新時期を迎えたレベラーを入れ替え、厚物加工の内製化を図った。

新レベラーの加工スピードは毎分80枚で従来の倍。幅、板厚を自動測定し、入り側と出側で圧下も自動調整。加工寸法も自動設定で行う。従来は手動だった。顧客の品質要求は強く、平坦度・対角精度もより高めた。

コイルの巻き戻しや少量多品種の加工対応が多いため、母材をレベラーに搬入する入り側には待機用コイル台車を6台設置し、順次コイルを送り出す。出側は加工後の鋼板を受

ける自動2連パイラートし、出荷効率を向上。来年6月には切りそろ

えた鋼板を結束する自動バンド装置を導入する。

須賀川事業所は1981年に設立し、表面処理鋼板を中心に薄板加工拠点をを行い、東北地区の供給拠点となっている。設備はほかに大型スリッター1基、ミニスリッター2基、ミニレベラー2基、プレスマシン2基など。月間加工量は約4000トで向け先は電機5割、OA機器4割、建材1割。05年度（8月期）の加工量は前年度並みをキープした。従業員約40人。

須賀川事業所の分工場として92年に長沼事業所（須賀川市）を近隣に開設。長沼は自動車産業用に特化した工場。月間4700ト程度とほぼフルに近い操業を続けている。長沼事業所はレベラーを持たず、須賀川事業所が肩代わりしており、新レベラーの稼働で長沼への供給対応力も増す。ハードをそろえたことで今後は「品質、納期対応、提案営業を重

点的に進め、差別化を図り、顧客との信頼関係を深めていく」（永山事業部長）方針。コンプライアンスの徹底などソフト面の充実に取り組む。

